

大森アートフェスタ 2022【縄文アートライフデザイン展】開催報告

大田区後援による魅力ある地域の創造に寄与するイベントに出展

2022年3月19日（土）・20日（日）・21日（月）、「大森アートフェスタ 2022」の一環として、ギャラリークラシック（大田区山王 3-30-5）にて、【縄文アートライフデザイン展】を、ギャラリークラシック主催・株式会社ウイル出展にて開催いたしました。

大森アートフェスタは、2012年よりNPO法人大森まちづくりカフェの「大森アートヴィレッジ・プロジェクト」として、大田区からの後援も得て開催されてきました。

大森を中心としたエリアを対象に、在住のアーティスト、ギャラリー、芸術的な産業技術、博物館等をネットワークし、その魅力を発信することで、地域住民による地域力と地域の文化力を醸成し、魅力ある地域の創造に寄与することを目的としています。



会場のギャラリークラシック入口前



長井市の「古代の丘・縄文村」ポスターを掲示



縄文土器・土偶のレプリカやスケッチ



仙台市の高橋泉さんによる縄文サウンドのCD

今回は、日本の考古学発祥の地・大森貝塚を擁する大森の魅力を「縄文」をキーワードに発信し、展示販売を企画致しました。

縄文土器や土偶のレプリカは、宮城県白石市在住の元東北歴史博物館勤務で、2021年東京パラリンピックにおいて、宮城県の聖火台の縄文土器製作を指導された、菊地逸夫さんの作品を展示販売致しました。2022年3月17日深夜に宮城県を襲った地震で、菊地さんの工房も甚大な被害に見舞われました。地震の2日前に大田区に作品が届き、その作品だけが被害を免れお披露目をする事が出来ました。会場には菊地さんへ向けた作品の感想や応援メッセージを書いて頂くスケッチブックを設置し、多くの方から震災復興を祈る気持ちを寄せて頂きました。

また、縄文時代の土偶をモチーフにしたビーズアクセサリーや編みぐるみ、縄文サウンドのCD、奥山 睦が描いた縄文土器や土偶のスケッチ、クラフトビールの大森貝塚エールの展示販売を致しました。



土偶のビーズアクセサリー



土偶の編みぐるみ

長井市のポスター、地場産品も展示販売

そして縄文つながりとして、山形県長井市の協力を頂き巨大な土偶が立ち並ぶ「古代の丘・縄文村」のポスターを掲示し、長井市の地場産品である玉こんやお蕎麦、うどん、焼き麩やしその実漬けなどの展示販売を行い、長井市東京事務所からは販売員として、連日来ていただきました。

併せて、長井市の資料一式が封入されたファイル、古代の丘や長井小学校のパンフレットの配布も行いました。

会場のギャラリークラシックは築85年の国指定の有形文化財であり、オーナーの高橋弘樹さんは、有形文化財保護活動もされています。長井小学校も有形文化財であることから、そのつながりも出来ました。

連日会場は多くの来場者で賑わいました。「古代の丘・縄文村」のポスターは、会場で話題となり「ぜひ行ってみたい」というお客様の声を数多く聞きました。「縄文」というキーワードは、長井市の関係人口を増やすファクターのひとつになると実感した3日間でした。

○大森アートフェスタ 2022 <https://www.oomori-oavp.net/>

○河北新報「聖火皿、中高生が縄文の彩り 仙台のパラ集火式で使用」

<https://kahoku.news/articles/20210519khn000020.html>



「古代の丘・縄文村」のポスターを掲示



長井市の各種パンフレット等を配布



長井市の地場産品を展示販売

報告：株式会社ウイル 奥山 睦